

がまき 議会だより

第106号
平成30年11月1日号



2018年度 上牧小学校運動会
「Piece→Peace～ひとつ～」

TOPICS

平成29年度決算報告	2～4
地方創生推進交付金事業について	5
9月定例議会報告	6～7
第8回議会報告会のご案内	8
特別委員会	8
議会日誌・議決結果	9
一般質問	10～15
子ども議会	16

平成29年度会計決算
全て認定されました!

決算特別委員会報告

9月10日の本会議で設置された決算特別委員会(委員長・石丸)は、委員長のほか委員5名(長岡・竹之内・牧浦・服部・康村)で、9月14日と18日の2日間開催しました。

委員会に付託された会計は、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計の7会計で、それぞれの会計決算について慎重審議の結果、全委員異議無く原案のとおり認定すべきものと決しました。

なお、これら7議案は、9月25日の本会議でも全会一致で可決しました。



平成29年度各会計別決算額

		歳入	歳出	平成30年度へ繰越す財源	実質収支	
一般会計		80億5,945万円	77億7,918万円	8,755万円	1億9,271万円	
特別会計	国民健康保険	31億0,723万円	29億4,720万円		1億6,003万円	
	後期高齢者医療	3億1,802万円	3億1,083万円		719万円	
	住宅新築資金等貸付事業	291万円	261万円		30万円	
	下水道事業	6億0,588万円	5億9,996万円		592万円	
	介護保険	保険事業勘定	17億5,191万円	16億9,351万円		5,840万円
		介護サービス事業勘定	695万円	680万円		15万円
水道事業会計	収益的収入支出 (税込み)	5億3,443万円	4億5,812万円		7,631万円	
	資本的収入支出 (税込み)	729万円	5,622万円		△ 4,893万円	

★一般会計

町税について

問 町民税の個人負担分、現年度課税分が前年度に比べて0.16%の微増となったがその要因は。

答 納税義務者の増加と、所得割の微増による。

ふるさと納税について

問 平成29年度に、ふるさと納税で他の市町村に納付された金額は。

答 納付額は約3200万円で、納税者は391名である。町の減額は約1463万円となった。

固定資産税について

問 固定資産税の現年課税分は、前年に比べ1.08%の増となったがその要因は。

答 土地の課税は評価額の下落で減となり、家屋の課税は新築家屋の増加と新築軽減期間の終了で増加した。償却資産は申告による増加である。

町職員の健康管理について

問 高ストレス者面接指導の実施状況は。

答 ストレスチェックで24名が該当し、そのうち10名がカウンセリングを受けている。

防犯カメラ設置について

問 防犯カメラは、これまで9台設置されたが、今後の予定はどうか。

答 1年に3台ずつ設置する。今年度は、葛城台・エトワホール近く・南都銀行上牧支店前に設置する。2026年をめぐに36台設置の予定。

子育てママ就業支援事業について

問 就業人数・募集の状況・町内を優先した雇用についてはどうか。

答 雇用は町内7名、町外13名、計20名。募集については子育て世代の男性・女性を業務量に合わせて随時されている。町内の方を優先した雇用により子育て世代の転入にも繋がると考えている。

小中学校エアコン設置について

問 平成30年夏休み中に工事が完了の予定だったがどうか。

答 平成29、30年度の事業だが、すでに完了し、夏休み明けの9月3日から稼働している。



エアコン設置状況視察

病児・病後児保育事業について

問 現在、大和高田市と協定を結び、一ヶ所で保育事業を行っているが利用者が少ない。病後児保育について、他市町では何ヶ所とも協定を結んでいる。

答 平成28年度の利用者は延べ51名、平成29年度は15名と減っている。今後は、保護者が保育場所を選択できるよう他の場所との提携も検討する。

療育支援相談事業(ほほ笑い教室)について

問 療育支援相談事業の賃金について説明を。

答 この事業は、発達に不安のある幼児と保護者に対するの悩み軽減を目的としており、プログラムを作成して個人または小集団を通じて助言・指導をおこなう専門の相談員等に対する賃金である。

可燃ごみ処理費について

問 可燃ごみ運搬処理委託料は、前年度より、約1億円増加したが説明を。

答 上牧町の焼却場は、平成28年10月操業停止した。平成29年度は、丸1年の委託となったため増となった。委託料は1tあたり32,500円。

国民健康保険特別会計

国民健康保険税について

- 問 国民健康保険税の収入済額が4億6894万円、前年度比5.1%の減となったがその要因は。
- 答 被保険者が227名減っており、後期高齢者医療保険に移られたのが大きな要因である。

財政調整基金の活用について

- 問 年度末基金残高は4億6959万円であるが、2024年国民健康保険の奈良県統一後の活用はどうか。
- 答 県統一までは保険税抑制に使うが、県統一後は基金が活用できないとされている。

特定健康診査について

- 問 受診率の目標30%に対し、28.73%である。今後の取り組みは。
- 答 受診率は下がったが、後期高齢者医療保険に移られた方がそちらで受診された。今後は、未受診者に対し電話や訪問をして増やしたい。

後期高齢者医療保険特別会計

保険事業について

- 問 保険事業費の人間ドック費用助成状況は。
- 答 人間ドックが37名、脳ドックが13名である。

下水道事業特別会計

下水道事業について

- 問 公共下水道事業費5561万円の説明を。また、北上牧地区の工事終了時期は。
- 答 北上牧地区での工事と、片岡台地区で長寿命化計画に基づいた改築工事を行った。北上牧地区の工事は、2022年度終了予定。

介護保険事業特別会計

介護予防サービスについて

- 問 保険給付費の介護予防サービス等諸費は、前年度に比べ約3700万円の減となったがその要因は。
- 答 介護予防サービスの一部が地域支援事業に移行したためである。

配食・緊急通報見守り支援事業について

- 問 配食見守り事業・緊急通報見守り支援事業の不用額、約246万円の説明を。
- 答 配食見守り事業の利用者は22名、緊急通報は115名の利用であった。見込み数より少なかったため不用額が出た。

水道事業会計

水道事業収益について

- 問 給水収益は4億4339万円で、前年度に比べ1245万円の増となったがその要因は。
- 答 平成29年度の給水人口は1万9173人で、前年度に対し122人の減、給水戸数は91戸の増となったためである。

水道料金について

- 問 水道事業の剰余金は、平成29年度末で約9億2000万円である。住民負担を軽減するために、水道料金を下げてはどうか。
- 答 現在、水道タンクの問題・水道管の改修・水道事業の奈良県単位化・近隣町での事業の共同化などの課題がある。タイミングを見て検討したい。



上牧町給水タンク

以上採決の結果、
全委員異議無く認定するものと決しました。

平成29年度地方創生推進交付金を活用した上牧町の事業

地方創生推進交付金とは、地域創生を支援するため国から交付されるもので、上牧町では以下の事業を実施したと決算特別委員会に報告がありました。

多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想

上牧町放課後塾「まきっ子塾」事業

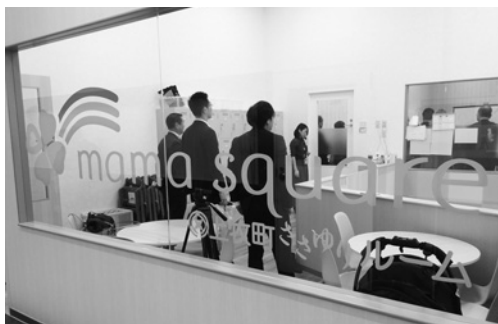
近年、全国的に子どもたちの家庭環境や貧困そして、生活習慣の変化により低学力化が問題となっています。子どもたちが将来において大きく羽ばたくには、自ら学習に取り組み様々な知識を身につけて考える力を高め、自信をもって行動することが大切です。そこで、生活や学習習慣を身につける時期であり、今後の学力、体力および規範意識の基礎をなす時期でもある、小学校1年生から3年生の児童を対象に、家庭学習の支援や家庭の負担軽減を目的に開催されました。

- 対象者 町内在住の小学校1年生から3年生
- 学習時間 放課後1時間程度
- 指導内容 学校の宿題が中心
- 学習アドバイザー 元教諭、大学生など



子育てママ就業支援事業

子育て期間中の女性が社会で活躍しながら子育てできるまちづくりを推進するため、場所と長時間の拘束を要しない働き方を実現できるテレワークの導入とともに、子どものそばで安心して働ける環境整備として、ワーキングスペースと託児スペース等を併設したオフィス「ママスクエア上牧町店」をアピタ内に開設しました。現在町内在住者を中心に母親22名が働いています。



奈良女子大学連携等による生涯学習講座の実施事業

大学等と連携のもと、生涯学習講座を実施することにより、町民の多様な学習意欲に応えるとともに、健康寿命の延伸をはじめとする地域課題に対する取組を地域に浸透させる役割の担い手など、高齢化社会に対応する人材の育成を目的としています。

健康支援講座、英語講座、上牧町歴史ガイド養成講座がそれぞれ3回行なわれました。



総務建設常任委員会報告

上牧町個人情報保護条例及び上牧町情報公開条例の一部改正

問 要配慮個人情報の定義が新設されたが、当町での対応はどうか。

答 今回の法律改正に伴いセンシティブ情報が、「要配慮個人情報」として類型化されたことを踏まえ、要配慮個人情報の収集制限について、原則禁止とする。センシティブ情報が今回の要配慮保護条項の中に含まれることから、今までどおりに対応していくが、今回の改正で追加された「身体的な特徴を示す情報」「公的機関が割り振った番号」も同様に対応する。

上牧町税条例等の一部改正

問 平成33年以降の個人所得課税の見直しでどのくらいの影響があると見込んでいるのか。

答 給与所得控除・公的年金等控除の見直しを図り、一部を基礎控除に振り替えるなどの対応を行う。具体的には給与所得控除・公的年金控除を10万円引き下げるとともに、基礎控除を10万円上げることから、さほどの影響はないと考える。

平成30年度一般会計補正予算(第3回)

問 歳入において、地方交付税が2年連続で約7000万円が増額補正されているが、当初予算では想定できなかったのか。また、増額になった項目は。

答 当初予算での想定にくらべ、公立保育所の在籍人数と障害福祉サービスの利用者が増加したため地方交付税増額補正となった。

問 「地域で育む里山づくり事業補助金」81万2000円の事業内容と完成時の利用目的について説明を求める。

答 居住地周辺に広がる竹林及び林の整備、都市近郊や集落周辺の荒廃した里山を整備、森林環境教育活動等に活用することにより里山の景観・機能回復を目的としている。



上牧町に広がる里山(下牧)

問 「ため池貯留浸透事業予備調査業務」では、貯水量について稲作に利用されている人との協議が必要だと思うが。

答 地域住民に理解を得られるような調査を重ねて、事業を進めていきたい。

問 ブロック塀等撤去工事補助制度の説明を求める。

答 6月18日の大阪北部地震を受け、北葛城郡4町で協議の上、通学路に面した倒壊のおそれのあるブロック塀等の撤去工事を行なう所有者に対して、上限10万円、10件分を補助する制度である。

問 今回、防災手引きが再度作成されるがその説明を。

答 現行の手引きは、平成25年に作成しており、在庫も少なくなっている。現在、全国で地震や水害、土砂災害など自然災害が発生していることを受けて、ハザードマップも含めた新しい手引きを刷新する。今年度3月までに12000部作成し、平成31年度には全戸配布を予定している。ホームページにもハザードマップを掲載する。

2025年国際博覧会の誘致に関する意見書

堀内議員より、5名の賛成議員と共に提案がありました。本会議では、大阪・夢洲の万博計画は、カジノとセットである、地震などに脆弱な人工島で危険との反対討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書

富木議員より、1名の賛成議員と共に提案がありました。

以上採決の結果、全委員異議無く可決するものと決しました。

文教厚生常任委員会報告

上牧町保健福祉センター設置条例の一部改正

- 問 閉鎖後13年経過した浴室の改築予定は。
- 答 脱衣所は社会福祉協議会の事務所として使用しているが、浴室部分の改築予定はない。

上牧町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

主な改正内容

- 1.代替保育に係る連携施設の確保義務の緩和
- 2.家庭的保育者の居宅で保育が行われている家庭的保育事業に関する一部改正

奈良県葛城地区清掃事務組合規約の一部改正

- 問 改正理由と影響額について。
- 答 下水道事業の普及により均等割が処理量割を上回っているため改正する。上牧町の分担金は年額、約580万円減額となる見込みである。
- 問 今回の規約改正の流れについて。
- 答 議会の承認を経て12月を目途に奈良県知事の許可を受け、平成31年4月施行となる。

平成30年度 国民健康保険特別会計補正予算(第2回)

- 問 基金残高6億933万円の今後の運用は。
- 答 国民健康保険事業の県全体の保険料が統一されるので、保険料を抑制する財源として、あるいは新たな保健事業に運用していきたい。
- 問 検査委託料の増額について
- 答 40歳から74歳の特定検診に新たな検査として胃がんABC検診を実施する。

平成30年度 介護保険特別会計補正予算(第2回)

- 問 基金残高2億8,305万円の今後の運用は。
- 答 介護保険料を標準月額で200円引き下げたが、今後は介護予防や重度化予防に取り組んでいきたい。

以上採決の結果、
全委員異議無く可決するものと決しました。

委員会に付託しなかった議案

上牧町税条例の一部改正 (専決処分)

生産性向上特別措置法の施行による地方税法の改正に伴い固定資産税の特例項目を追加。

平成30年度 一般会計補正予算(第2回) (専決処分)

図書館空調設備改修工事 829万5000円
図書館の空調が故障したため急遽改修工事が必要となったため専決処分を実施。

教育委員会委員の任命

任期満了に伴い次の方を再任するもの。
渡邊 文彦さん(友が丘)
東谷 静一さん(下牧)

人権擁護委員候補者の推薦

高橋 道代さん(桜ヶ丘) (新任)

上牧町文化財保護条例の制定

町の区域内に存する文化財のうち、町にとって重要なものについて、その保存及び活用のために必要な措置を講じることを目的に制定。

史跡上牧久渡古墳群保存管理活用計画策定委員会設置条例の制定

史跡上牧久渡古墳群の保存管理活用計画の策定に関し必要な事項を審査するため委員会を設置するために制定。



史跡上牧久渡古墳群(発掘調査報告書より)

以上採決の結果、
全議員異議無く可決しました。

第8回 議会報告 みなさんと語り合う座談会



町民の皆様へ日頃の議会の活動状況を知っていただくために座談会を開催します。

日時 平成30年11月10日(土)
午後1時30分～午後3時00分

場所 2000年会館 2階多目的室

◆議会への質問にお答えします!

今回の議会報告会は、町民の皆さんからの事前のご質問についてお答えいたします!
また、当日のご質問につきましても質疑応答いたしますのでぜひお気軽にご参加ください!

ご報告

上牧町一般廃棄物処理基本計画について

一般廃棄物処理基本計画は、市町村が一般廃棄物処理に係る長期的視点に立った基本方針を明確にするもので、本町では平成30年3月に議会に報告がありました。一般廃棄物処理基本計画を平成26年10月に見直し、老朽化した焼却施設の稼働停止、それに伴う焼却処理の民間委託、中継施設の建設・稼働(平成28年11月開始)を進めてきました。

そのような中、周辺市町村でも既存施設の老朽化が進んでおり、広域化による行政効率の向上、安定的なごみの処理の継続確保することを目的に平成28年4月上牧町及び大和高田市・天理市・山添村・三郷町・安堵町・川西町・三宅町・広陵町・河合町の10市町村を構成市町村として、山辺・県北西部広域環境衛生組合が設立されました。広域組合では、新しい焼却施設及び粗大・リサイクル施設の整備を予定しています。新ごみ処理施設は平成35年度の供用開始を目標としており、施設の稼働に合わせて、構成市町村での広域処理を開始する予定としています。

平成30年9月 定例会の議決結果

(平成30年9月10日～9月25日)

○賛成 ●反対 ー除斥 ×棄権 空白は欠席

議案名	議決結果	堀内英樹	竹之内剛	遠山健太郎	牧浦秀俊	吉中隆昭	長岡照美	富木つや子	服部公英	石丸典子	康村昌史	東充洋	辻誠一
専決処分報告について 上牧町税条例の一部を改正する条例について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりませ ん
専決処分報告について 平成30年度上牧町一般会計補正予算(第2回)について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度上牧町水道事業会計決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町個人情報保護条例及び上牧町情報公開条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町税条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町保健福祉センター設置条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
奈良県葛城地区清掃事務組合規約の一部を変更する規約について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度上牧町一般会計補正予算(第3回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度上牧町介護保険特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度上牧町下水道事業特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教育委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教育委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2025年国際博覧会の誘致に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	
学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町文化財保護条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
史跡上牧久渡古墳群保存管理活用計画策定委員会設置条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

あなたの声を町政に！

一般質問一覧

上牧町の行政事務全般について、各議員が町側に考えを聞くのが一般質問です。

各議員は政策提言も含めて質問をすることができ、上牧町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、一般質問原稿について、それぞれ質問をした各議員自らが要約し、編集したものをそのまま掲載しています。そのため記事により一部表現が異なる場合等がありますがご了承ください。

遠山健太郎	1. 防災について 2. 子どもたちを守る
堀内 英樹	債権管理条例は有効・適正に運用されているか
牧浦 秀俊	1. 防災訓練について 2. 商工会の役割について
吉中 隆昭	職員の草刈業務について
服部 公英	1. 町行政について 2. 財政運営について 3. 通学路の安全対策について 4. 住環境の整備について
石丸 典子	1. 地域交通政策について 2. ため池の治水対策について 3. ブロック塀等の安全対策事業について 4. 多子世帯の保育料軽減について 5. 平和記念事業について
康村 昌史	1. 安全・安心なまちづくりについて 2. 上牧町のまちおこしについて
富木つや子	1. 防災・減災等安全対策について 2. 地域で高齢者を支える介護について 3. 子どもの命を守る児童虐待防止強化について
長岡 照美	1. 高齢や病気になっても自分らしく暮らせる町の取り組みについて 2. ヘルプカードのさらなる普及推進について 3. 認知症高齢者等見守り支援事業について
竹之内 剛	1. 小中学校における教育について 2. 災害対策について
東 充洋	1. 将来都市構想について 2. バリアフリー基本構想について 3. 運動部活動の現状について

問 上牧町では町外で勤務している共働き世帯が多いので、万一の場合の学校での引き渡し訓練は必須と思う。近隣事例も参考に是非実施してもらいたい。

答 引き渡し訓練は大切なものだと思うので検討課題としていきたい。

問 学校での暑さ対策の一環で今年度全小中学校にエアコンが設置されたことは大変うれしく思っているが、エアコンの運用指針は？

答 運用指針を制定して各学校に通達している。

問 エアコンが設置されると夏休みが短くなる。この理由は何だと考えるか。

答 まず授業時間の確保だと考える。

問 夏休みの短縮について。子ども議会でも「夏休みが短くなくても宿題は減らないので短くしないでほしい」という要望があったし、校庭や体育館は暑いままで体育の授業の問題もあるので、エアコン設置イコール夏休みの短縮ではなく、授業時間の確保だけを考えずしっかり議論してほしい。

答 いろいろな要件もあると思うので全部を含めて考えていきたい。

防災と学校の暑さ対策

災害や暑さから子ども達を守る為に



遠山 健太郎

債権管理条例は、
優れたツール！



堀内 英樹

「督促」の励行が
滞納整理の入り口

問 納付期限までに納付しない場合の「督促」は、債権管理条例第6条で「しなければならない」と規定されているが、果たして履行されているのか。

答 「督促」の履行であるが、保育所保育料では平成27年度15件、28年度7件、29年度8件であり、町営住宅使用料では28年度7件、改良住宅使用料では28年度4件である。介護保険料は年間1,300件から1,107件に、後期高齢者保険料では同じく700件から572件に上っている。

問 債権管理条例は、財源確保を図るうえで、使い方によっては優れた道具である。今後町としてどのように有効活用されるのか。

答 全庁的に取り組む形で上牧町の税外債権管理指針を設け、強制徴収公債権や非強制徴収公債権、私債権、それぞれの手順等をまとめて、徹底するように職員に指示したところである。また町としての債権管理適正化会議を開催し、各担当で統一しなければならないこと、問題となっているところを整理するように指示している。

問 7月9日 午前10時30分頃、奈良全域でシェイクアウト訓練が行われたが、町内の小中学校ではどう行動したのか。また、訓練後の学校、自治会などの聞き取りはしたのか。

答 授業を優先してしまい、教育現場にお任せした。大雨や、台風で休校が多かったのが原因で授業が遅れ気味で、訓練に参加を強要しなかったため、そのため、聞き取りもしていない。

問 高槻市でブロック塀の下敷きになって亡くなられた子どもさんがおられたが、シェイクアウト訓練を通じて、頭を抱えることが反射的にできていれば、もしかして助かったかもしれない。確かに授業も大事である、それ以上に子どもたちの命が大事だと思うが。

答 これからは子どもの命を守る訓練であることを念頭において、町としても必ずしなくてはならない訓練として教育現場にも認識してもらい、防災教育とともに履行していきたい。

シェイクアウト訓練とは？

1 分間の安全確保行動
～ひとつしかない「いのち」を守り、
生きぬくための行動訓練です～



地震の防災訓練について

シェイクアウト訓練は
どうだったか



牧浦 秀俊

町職員による猛暑時での 草刈りは危険



町職員の
草刈り業務について

吉中 隆昭

問 町職員による草刈り業務はいつ頃始まり、その目的は何だったのか。

答 平成18年より始まり、目的は当時大変な財源不足で困っていた。その財源不足を助ける為の政策の一つだった。

問 職員の草刈り面積は年間何㎡位やっているのか。また草刈り作業の時間帯は何時ごろなのか。

答 草刈り面積は年間約19,000㎡やっている。また、草刈り作業の時間帯は午前中は9時30分より11時30分まで、午後は13時30分より15時30分までとなっている。

問 当初の目的達成程度は。

答 目的達成程度については、町職員の頑張りや協力によって、ほぼ達成している。

問 草刈り作業は危険が伴い、町職員の健康管理が難しい。現在は当初の目標も達成出来ているので職員の草刈り業務を止める様強く求める。

答 職員の草刈り作業については、安全対策を徹底するよう指示しているので大丈夫であり今後も継続して行っていきたい。

問 コミュニティバスのアンケート結果を受けて、運行経路を変更する予定があるのか。

答 今のところ住民皆様の意見や要望を検討しているところです。

問 高齢者向けの奈良交通バスの割引やタクシー割引制度など住民サービス事業を検討されてはいかがでしょうか。

答 他町村で行われている所もありますが、当町としてはコミュニティバスの充実を進めて行く方針です。

問 通学路の安全対策については。

答 早急に町内の通学路の安全点検を行いました。通学路に面する地震時に倒壊の恐れがあるブロック塀等の撤去工事を行なう所有者等に対し、撤去工事補助金10万を交付することになりました。



行政サービスについて

交通政策の
有効活用を



服部 公英

幼稚園保育料について



石丸 典子

多子世帯の
軽減策拡大を

問 町立幼稚園の保育料は、同一世帯において、幼稚園年少から小学3年生までの範囲で、多子世帯の軽減があります。所得による6階層で、2人目は半額、3人目は無料です。しかし、年が開いた3人目以降は満額の負担となります。満額負担になっている対象人数と保育料を伺います。

答 平成29年度で11名が対象になり、年間保育料は、77万7千円です。

問 多子世帯への子育て支援の要望があります。上牧町独自の施策を提案します。例えば、18歳までの範囲に拡大するなどの検討を願います。

答 国では、2019年10月を目途に幼児教育無料化も検討されているので見守りたいと考えています。



問 今年度で三年目を迎える上牧未来創造マリッジサポーターの今年度の事業内容は。

答 婚活イベントとして10月21日第1体育館でビーチボールバレー、12月にクリスマスパーティー、来年3月にマリッジサポーター主催のイチゴ狩りを予定している。

問 今年度マリッジサポーター養成講座はいつ行われるのか。

答 7月28日に第1回目が行われた。あと11月と来年3月に行なう予定である。

問 中長期財政計画によると平成33年度までマリッジサポーター事業の予算化が行われているが、その後の見通しはどうか。

答 平成33年度までにNPO法人等を目指すよう国は指導している。

問 子どもの数が少な過ぎる。この国の将来が本当に心配だ。マリッジサポーターはボランティアで本当に頑張っているが、マリッジサポーターだけではなく、上牧町をはじめ全住民あげて未婚の男女に巡り合いの場を作り結婚してもらおうような雰囲気作りが必要である。

答 今度マリッジサポーターが町内の事業所に上牧町の結婚応援団に参加してもらうようお願いに行く予定である。

全住民・上牧町あげて若者の結婚応援を



頑張れ上牧町
マリッジサポーター

康村 昌史

各地で自然災害が多発
平時からの備えが大事



「被災者支援システム」の構築を

富木 つや子

問 各地で自然災害が相次いでいます。災害の発生時には、まず人命救助が最優先。その次は、被災者への迅速な再建への生活支援が当然必要となります。その支援のための「被災者支援システム」の構築状況は。

答 現在は、システムのセットアップを終え、住基データへの取り込みも完了している。連携を行なうためのツールも独自で開発しており、災害発生時には即時に最新データへの更新が可能となっている状況である。

問 現在の運用状況と、今後の取り組みについて

答 現在は、罹災証明の発行までとなっている。今後については現在、2000年会館等が避難所となっており、まず、避難所関連システムの構築が必要と考えている。システム機能は8項目等あるが、避難行動要支援者管理システムはいちばん大事であると認識している。今後もいつ起こるかかわからない自然災害に備えるために、研修等にも参加して勉強しながら出来るだけ早期に構築できるよう取り組む。



問 もうまくが さいぼうしゅ 小児がんの中には網膜芽細胞腫という眼のがんがあります。発症は出生児1.5万～1.6万人に1人と少数ですが、このがんは5歳までに95%が診断されています。その多くは家族が子どもの眼の異常に気付き受診に至っています。網膜芽細胞腫は腫瘍が眼球内にとどまっている場合、眼球を摘出しないで、可能な限り残す方針で治療することが多いと言われています。そのためには、早期発見が重要なことです。網膜芽細胞腫は「白色瞳孔」や「斜視」の症状が現れます。乳幼児健診で症状をチェックできる体制についてお伺います。

答 乳児健診の3か月健診・10か月健診時に小児科医が問診及び保護者からの気付きを聞き取り、ペンライトで乳児の眼の反射を見て外観からのホローはできます。三歳児健診では視力検査と斜視と外観の検査を行っています。変化は保護者からの問診で聞き取り進めていきます。



乳幼児健診で小児がんの
早期発見について



小児の死亡原因の第一位はがん

長岡 照美

すべての子ども達への
学習環境整備の推進



竹之内 剛

まきっ子塾の
利用拡大を！

問 学力向上に向けた取り組みと成果について

答 一つは、子ども達の基礎学力の向上、家庭学習の定着、家庭の教育に対する負担軽減への取り組みとして、まきっ子塾の運営がある。

問 まきっ子塾の現在の利用状況について

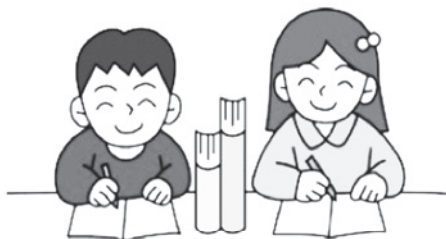
答 平成29年度、1～3年の小学生の合計利用数は、上牧小学校53名、第2小学校は52名、第3小学校は61名である。

問 まきっ子塾の利用規定について

答 子ども達の安全確保のために、保護者のお迎えを要件としている。

問 第5次総合計画の学校教育の目的として、すべての児童の学力向上を掲げているが、まきっ子塾の要件により行きたくても利用できない子どもがいる。その対策として、自治会施設の利用等、出前型の運営はできないか。

答 現状6名のアドバイザーでの事業拡大は困難であるが、今後検討していきたい。



問 第5次総合計画において「かんまき笹ゆり回廊」の位置づけにより、歴史文化や自然環境を保全、人々が訪れたいくなるような拠点整備を進め、広域連携の強化、効果的な情報発信で魅力向上に取り組むと明記されている。施策の具体的な説明を求めます。

答 今後、5年間で県と町とで滝川を整備する計画である。水辺空間と滝川遊歩道(サンシャイングリーンベルト)を整備し、地域資源を繋いでかんまき笹ゆり回廊とする。

問 上牧町内で象の化石、瓦窯跡や久度古墳群、片岡城址等々の化石や遺跡を多くの町民は知らない。魅力ある上牧町を発信するために化石が発掘された所や遺跡がわかる立て看板を設置する事を提案する。

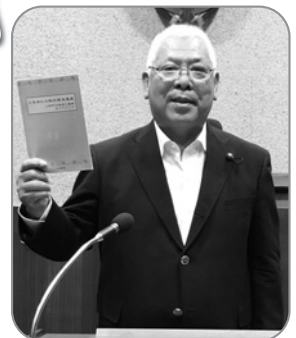
答 至極当然な提案であり、案内板等はすぐにでも設置し、同時に町内外に情報を発信するために町長以下、町職員が上牧町についてもっと知るための勉強が必要があり、職員それぞれの立場で調査・研究してまいりたい。

問 ボランティアで回廊を案内できる人たちの育成を提案する。

答 歴史ガイド講座を行った。参加いただいた方々が活躍できるよう取り組みたい。

将来の都市構想に
ついて

ロマンあふれる
上牧町へ！



東 充洋

平成30年度「子ども議会」が開催されました！

次世代を担う子どもたちが、議会の仕組みを理解するとともに上牧町の将来について意見の発表や町行政に質問する機会として、上牧町では2年に一度「子ども議会」が開催されています。今年度は、平成30年8月2日(木)午後1時より、上牧町議会本会議場(役場3階議場)にて、上牧中学校と上牧第二中学校から選出された子ども議会議員12名により実施されました。

まず質問に先立ち、午前中は、役場3階の上牧町議会委員会室で議会事務局担当者から議会の仕組みを学び、本会議場に移動し入念なりハーサルをし、議場での所作や質問の仕方などを学び、昼からの質問に臨みました。



午後からの本会議場では、上牧町議会の一般質問に準じた運営で一問一答式で行われ、各子ども議会議員より質問を受けた町長や担当部長は、本番さながらの回答をされていました。



質問では「上牧町の知名度アップの方策について」や「校区編成の見直し」等の政策的な議論から、「エアコンが設置されたのは嬉しいが夏休みが短くなっても宿題は減らないので夏休みは短くしないでほしい」といった具体的な提案に至るまで、様々な議案に基づき質疑応答が行われました。

議会日誌

7月

- 2日 広報委員会
- 3日 議会運営委員会
- 4日 ごみ処理問題特別委員会
- 9日 監査委員研修
- 10日 広報委員会
- 11日 差別をなくす町民集会
- 23日 議員人権研修会
- 30日 正・副議長研修会
- 31日 奈良県民集会



8月

- 2日 子ども議会
- 3日 葛城地区清掃事務組合議会
- 10日 財政問題特別委員会
- 21日 山辺・県北西部広域環境衛生組合議会
- 23日 議員懇談会
- 28日 奈良県町村議会議長会県外視察研修
- 29日 奈良県町村議会議長会県外視察研修



9月

- 5日 町シルバー人材センター理事会
- 6日 議会運営委員会
- 10日 第3回定例会(初日)
- 11日 文教厚生委員会・本会議・議会運営委員会
- 12日 総務建設委員会
- 14日 決算特別委員会
- 18日 決算特別委員会
- 20日 一般質問(6名)
- 21日 一般質問(5名)
- 25日 第3回定例会(最終日)



次回の定例会は 12月6日開催予定

- ・第4回上牧町議会定例会
平成30年12月6日(木)
午前10時から
- ・議会運営委員会
平成30年12月4日(火)
午前10時から

編集後記

お問い合わせ ☎ 0745-76-1001
fax 0745-76-1003

▼8月2日に開催された「子ども議会」では、町内の中学生の豊かな感性からの上牧町に対する一般質問に対して、担当側は丁寧に分かりやすく答弁していました。▼我々議会議員一同も大いに刺激を受けて学ぶ機会となりました。▼町民の皆さんの質問の内容を真摯に受けとめることが、より良いまちづくりの第一歩であると再認識しました。

広報委員会
委員長 竹之内 剛
副委員長 遠山健太郎
委員 牧浦 秀俊
委員 長岡 照美
委員 服部 公英
委員 石丸 典子
委員 康村 昌史